

4. 有識者委員会からの助言と対応

- 福岡空港調査 P I 有識者委員会の助言と対応

福岡空港調査 P I 有識者委員会の助言と対応

日時	活動	助言	対応
H19/9/20	説明会(福岡市内)	(所見) ・これまで参加した説明会のなかでは、今回が内容的にも一番充実していた。 ・説明も手慣れていたし、これに対する質問も無駄が少なく、かなり成果を上げたのではないかと。ただ、出席者の大半が、いつも特定の関心がある人に片寄っている感じがする。もっと幅広く一般市民を集める努力が引き続き必要だろう。 ・P I 有識者委員会での議論も取り上げられ、P I 活動が着実に定着してきている感じがする。特に公開双方向での議論を期待する声が強かった。今後こうした機会をさらに増やす必要がある。 (助言) ① 1 人の発言、時間を 3 分程度とし、少しでも多くの人に発言する機会をつくった方がよい。 ② 当日、質問に適切に答えられなかった問題（例えば、(1)滑走路増設によって需給逼迫度合いはどの程度緩和されるか、(2)近隣空港に安い政策料金を設定し、乗客を誘導することはできないか等）については、早い機会に何らかの回答を示した方が、今後の信頼につながる。	① 発言時間は 1 人あたり 5 分とし、より多くの方に発言いただけるよう工夫いたしました。また、ご意見が多い場合は、質疑時間を最大 30 分延長し対応いたしました。 ② ご質問に即答できなかった、需給逼迫緩和効果など今後調査を進め、ステップ 4 でお示しすることとしております。
H19/9/23	オープンハウス(福岡市内)	(所見) ・全体的には、小規模のオープンハウスであった。展示物だけでは、趣旨自体をすぐに理解することは難しいが、説明を希望する市民には担当者から適切に説明が行われ、アンケートの回収状況も良好であると思われた。 (助言) ① 3 つのブロックに分けて展示がされていたが、それぞれのテーマごとに分けられたブロックについて、説明する内容が一目では分	① それぞれのテーマごとに「近隣空港との連携について」、「現空港における滑走路増設について」、「新空港について」と見出しを付け全体の流れが把握できるよう工夫しました。 ② 会場付近での P I レポートの配布やのぼりの設置など様々な工夫を行ってきたところですが、ご指摘を踏まえ、ステップ 4 においても工夫して参りたいと考えております。

日時	活動	助言	対応
		からないので、大きな見出し等をつけることにより、全体の流れが把握できるようにするほうが良かった。 ②オープンハウスの横に、休憩する人、通行する人ほかたくさんの方が行きかっているが、積極的な働きかけは、あまりされていないように見受けた。オープンハウスがここで開催されているというご案内、盛り上げ方法にもう少しの工夫が欲しかった。	
H19/9/27	懇談会(空港関連事業者・団体)	(所見) ・行政側からの説明が、順序よく短時間で焦点が絞られて行われていた。回を重ねたこともあるが、参加者の意見を主体とすることが定着してきたと思う。 ・連携型に対する今回のステップ3の冊子の表現に関し、対象者が事業者団体であっても、様々な意見があった。ことに、長期間を要する工事期間中の対応に関する問題の指摘、事業費の具体的内容の情報開示に関する意見が多かった。 ・質問・答えの時間配分は、当初の注意が効を奏して、かなり合理的になった。	
H19/9/29	オープンハウス(福岡地区)	(所見) ・ショッピングセンターのメインの入り口に設定されており、位置としては最高である。 ・展示パネルはよく工夫され、代替案の比較検討がうまくなされるとともに、分かりやすく表示されていて、良かった。 ・提出されたアンケートを見せていただいたが、自由回答欄にぎっちりと意見を記入したものがかなりの割合を占め、関心・意識の高さを物語っているようであった。 ・一般的な印象であるが、マスコミの報道の様子、市民の関心の高さなどから判断して、P I も浸透しつつあると考えたい。ステップ4が最終であり、情報提供と提案もより具体化するであろうことか	

日時	活動	助言	対応
		ら、ますます関心も高くなると思われる。より良いP Iの実施のためにも、その足固めとしてのステップ3は重要である。この意味で、市民からの意見の要約と総合的調査への反映状況を詳しく、的確に具体的に示すことが重要であり、連絡調整会議に期待したい。	
H19/10/1	懇談会(空港関連事業者・団体)	(所見) - 参加者が空港に直接関係のある団体であるので、需要構造、空港の収支、スロット数に関する質問など専門性の高い質問があったのが特徴的といえよう。 「どういった空港にするのか」は「どういった利用者像を想定するのか」に答えることに等しい、という指摘はもつともであり、P Iを浸透させるには想定される利用者像をもっと明解にする必要があるだろう。 (助言) ①空港の収支やスロット数の勘定など、現段階では数値化されていない項目についての答が中途半端で生煮えの観のあることが否定できない。確かに現段階で答えられないことであろうが、いくつかケースを想定してもう少し具体的に答えられることを希望する。	①ご質問に明確にお答えできなかった各方策の処理容量などについては、今後調査を進め、ステップ4でお示しすることとしております。
H19/10/2	出前説明会(福岡市内)	(所見) - 回答に一工夫を 内容が具体的になったためか、これまでに比べ活発に意見が出るようになった。しかし、質問に対する主催者側の回答でやや歯切れが悪い面が見られ気になった。質問に対しては、まず「イエス、ノー」をはっきりさせたいうえで、その理由を説明した方がよい。また、答弁が不十分な場合は別の主催者が補足する必要がある。 - もっと議論を深める努力を	①わかりやすい説明資料となるよう、ステップ4ではパワーポイントの作成等の工夫をして参ります。

日時	活動	助言	対応
		説明会では、会場からの質問に答えて次に移るのではなく、問題点を整理、さらに関連質問を求めて、議論を深める努力が必要だろう。 (助言) ①説明資料はわかりやすいものにパソコンを使ってP I レポートの説明をしているが、冊子をそのままパソコンに取り込んで使っているの、文字などゴミゴミとしてわかりにくい。別途説明用資料を作った方がよい。	
H19/10/3	説明会(北九州地区)	(所見) ・当初の会場への経路に参加者の戸惑いがあった。案内人を各階に配置してからは人の流れがスムーズになった。 ・冒頭の行政側説明に関し、今回の説明会の開催場所所在地から、対象とする者の興味を考え、各ステップでの経過と今回のステップでの連携問題の位置づけに関し、焦点の説明に工夫があると良いと思った。説明も同じ事柄でも柔軟な対応ができると思う。 ・当初の司会者からの時間配分に関する説明は、かなり効果があり質問者の発言は、これをよく反映していた。これを受ける質問のまとめの方に工夫が必要で、必ずしも質問と回答がマッチしていなかった。 (助言) ①連携型に関する今回の冊子の表現には、誤解を受けた参加者が多かったように思う。今後ステップ4に進むに際し、充分練った表現や説明に配慮することが必要と感じた。	①今後ともわかりやすいレポート作成と丁寧な説明を心がけて参りたいと考えております。
H19/10/4	出前説明会(福岡市内)	(所見) ・出席者は25名で、九州の交通に関連した方々ということもあり、出前説明会は非常に有意義なものとなった。 ・説明資料は、ステップ3にかかる	

日時	活動	助言	対応
		P I レポートと詳細版が使用され、画像による説明もあったので、出席者にとっては、分かりやすかったのではと思われる。 ・質疑も活発に行われ、特に「空港連携」について、P I レポート上「対応策にならない」という説明になっているところや今後の「評価の視点」についての議論もあり、大変盛り上がった質疑となった。 ・以上のことから、十分、出前説明会の役割は果たせたと思われた。なお、主催者からも、活発な意見交換ができたことを喜ぶコメントもあった。	
H19/10/9	懇談会(空港関連事業者・団体)	(所見) ・参加者が空港を直接利用する業者であるので、特に需要構造に関する質問が多かったように思われる。 ・「需要誘発型」のイメージはP I レポート、口頭説明ともにわかりにくい。「誘発」という言葉のイメージが違うのではないかと思われる。 ・「需要に対応できなくなる」ということに関する説明が「潜在的な需要」という意味で伝わっているのか不明瞭である。どのように足りなくなるのか」ということをもう少し明確に説明しなければならないように感じる。 ・10月1日のレポートでも触れたが、現段階では数値化されていない項目についての質問についての答が中途半端である。第4ステップで検討する、というのは受け答えとしてはやはりいかがなものかと思う。 (助言) ①新・旧空港の併存についての管理者側の見解はP I レポートにも事前を書いておくべきであろう。	①今後ともわかりやすいレポート作成と丁寧な説明を心がけて参りたいと考えております。
H19/10/10	懇談会(空港関連事業者・団体)	(所見) ・懇談会の参加者は、空港に関連する事業者からの参加者で、20名程	①出前説明会については、ホームページ、自治体への周知等、広く周知を図っており、開催の依

日時	活動	助言	対応
	体)	度であったが、非常に熱心な意見交換、質疑があり、全体として空港に関する意識の高さが伺われた。 ・説明については、P I レポート、画像を中心に行われたが、説明者の説明スピードがやや速く、用語の聞き取り、理解が難しいのではと思われたが、P I レポートでその点は補われたようで、その後の質疑では、そのような懸念はないような感じで進められた。 ・司会者が最初に意見募集はがきについて説明し、投稿を呼びかけられたが、出席者の意見を聴取したいという主催者の趣旨がさらによくわかり効果的であったと思われる。 ・質疑については、1 時間程度を取って行われた。空港の立地に関する専門的な質問、出席者の事業に直接かかわるような質問、貨物の利用状況に関する質問、空港の跡地の検討状況に関する質問、評価の視点など、かなり突っ込んだ質問があった。回答については、航空局、市当局から適確に行われていた。 ・司会者の働きによって、すべての人が意見を発表する機会が与えられたので、良かった。 (助言) ①市民一人一人、福岡空港について、色々意見を持っているということがさらに認識できたので、出前説明会をもう少し多く開催し、直接意見を聴ける対象が広がるようにしたほうが良いと思われた。例えば、商工会議所、中小企業関連諸団体については懇談会に出席している団体の代表に説明するより、直接出前説明会の方が望ましいと思われた。	頼があれば積極的に対応することとしております。回数も 20 回を超える見込みとなっておりますが、今後とも努力して参りたいと考えております。

日時	活動	助言	対応
H19/10/14	インフォメーションコーナー(福岡空港)	(所見) ・出発ロビー正面という位置は、いままでにない良い立地と思う。 ・出発前の待ち合わせ客が、この展示を見たり、空港問題の進行状況を各話している場面が随所があり、問題が具体的になってきたことが関心を高めてきていると思う。 ・意見募集という問題意識より、問題が絞られてきたという意識が浸透していると感じた。	
H19/10/24	公開懇話会(第1回)	(所見) ・関係者団体の代表の方々と交えた公開懇話会であり、意見がはっきり出てわかりやすかった。 (助言) ①出席者同士の間で質問があったが、それに対して答える時間がなかったように思う。事前に出席者同士で質問事項を整理してはいかがかと思われる。 ②懇話会であるので、P I レポートの説明はある程度簡略化してもよいのではないかと(事前に出席者の方に配布し、意見を聴取した方が効率的)。	①公開懇話会は、参加者の発言を受け、自由に、触発された他の参加者が意見などを表明し、コミュニケーションがとられることを目的としております。そのため事前に質問事項等をとることは困難です。今後、進行のやり方や司会者の対応について検討したいと思います。 ②懇話会から一定の期間があくこと、マスコミや傍聴者の方にも、論点をわかりやすくすることが必要であること等から、説明を10分程度として実施したところです。
H19/10/31	公開懇話会(第2回)	(所見) ・公開懇話会では、非常に活発に、また多岐に渡る議論がなされ有意義であった。 ・出席者17名のうち、14名は第1回にも出席されていた。週日の午後という出席しにくい時間帯にもかかわらず、議論に参加していただいている皆さんの努力には感謝を表明したい。 ・また、1回あたりの発言もルール通りに短く、発言は簡潔で分かりやすかった。これに関しても高く評価できる。またこの背景にはファシリテータの適切な司会があったことも記憶すべきである。 ・この公開懇話会は、誰にでも傍聴可能な公開の場で、関心と立場の異なる人々が、心配・懸念・関心	

日時	活動	助言	対応
		を互いに表明し、色々な考え方が存在することを相互了解することを目的とするものであると考える。この視点からすれば、公開懇話会は目的を達しつつあると思われる。 ・しかし、少し残念な点があったことも事実である。これは、一部の発言の中に、根拠や理由を示さずにポジション（反対である、信用できない）の表明が含まれていたことである。時間制約がある中での発言であり、言いたいことをかなり省略せざるを得なかった結果であると思われるが、認識や懸念の共有のためには、立場にこだわるだけではなく、実質の心配・不安・関心についての意見交換が重要であろう。 ・第3回は連絡調整会議に向けての公開懇話会の意見のとりまとめを行うとのことであるが、意見の集約ではなく、表明された意見を、例えば、関心領域毎、これまでの検討事項毎に整理するだけで十分であろう。 ・ステップ4においても、公開懇話会方式は有効であると思われる。この経験と成果をステップ4においても活用すべきであろう。	
H19/11/5	福岡空港意見発表会	(所見) ・今回の意見発表会は、初めての試みだったが、参加者も多く、発表内容もきちんとしていて大変好評だった。会場からも、今後こうした機会を増やしてほしいとの要望があったが、同感である。 ・ただ、運営上いくつか気になることもあった。 (助言) ①主催者あいさつか進行説明のなかで、11人の意見発表者をどんな基準で選んだのか、その経緯を説明した方がよかった。 ②第2部の意見交換はもう少し時間をとって討論をさせた方がよい。	①今後、この様な催しを開催する場合は、経緯を含め丁寧な説明を心がけたいと考えております。 ②会場からは今後もこうした機会を増やして欲しいとの要望があるなど好評であり、主催するにあたっての目的であった空港問題に対する市民の関心を高め、市民相互間の交流促進のきっかけづくりについては一定の成果があったと考えております。ただ、初めての試みということもあり、時間配分についての助言につきましては、今後の参考にしたいと考えております。